

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年3回の避難訓練を実施しているが、建物が3階建であり、地域の方々の協力が必要不可欠である。地域の方々を巻き込んだ訓練を実施しておらず、実際に火災や災害等が発生した場合に不安な点がある。過去に消防団の方による施設見学をしていただきましたが、見学だけに終わらず、消防団等や地域の協力を得た訓練が必要である。	消防署や地区の消防団及び地区の方々との話し合いを設け、施設の実態を把握していただき、計画を作成・実践し、施設の方々や地域住民の方々が安心・安全な生活が送れるようにする。	地域住民の方々、自主防災会、消防署、消防団の協力体制については、相互に検討確認する機会を設ける。また、常日頃、情報を共有し、連携を図り、具体的な計画を作成・検討し、それに基づいた訓練を実施する。	12ヶ月
2	26	チームにおける介護計画とモニタリングにおける、ケカンファレンスに家族などの参加が難しい現状です。そのため、家族等の意見や要望、意向等を反映されていない状況である。そのため、来所した際や電話をした際にその内容を聴取し、その内容を記載する様式等を設ける必要がある。	面会時に、本人と家族及び職員等の話し合う機会を設け、要望・意見・意向を聴取出来る様に努める。把握した内容を明確に反映されるような様式を定め、職員がその主旨を理解し、家族等の意見や要望等が介護計画に十分に生かされるようにする。	カンファレンス会議の開催日には、家族等の面会日に都合を合わせ、参加していただくように配慮し、事前に連絡をとるようにする。また、参加できない場合には、聴取内容についての様式等を作成し、決め細かく希望等が抜けることなく把握することが出来るようにする。これに基づき、家族等の要望等が十分に反映され、利用者及び家族等が満足される計画を作成し、職員がその情報を共有して実践する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。